

第2小委員会 発言者



第2小委員会 執行部答弁

エリア手当は最重要課題と認識

池上賃金対策・調査部長



を認識している。2023春闘においても継続して議論していくものである。

◆賃金関係において、様々なご意見を頂き感謝を申し上げます。定期大会終了後、中央闘争委員会を設置させていただき、ポナスというものが組合員の生活給になっていることを踏まえ、少しでも多くの成果をあげるようしっかり取り組んでいくこととする。

◆各種職務手当については、エリア手当の意見が多く挙がったが、世の中の物価の上昇や社会変容、会社施策の組織改正も含めて重要な課題であること

医療職に光を

梅村医療部会長

◆看護職員等処遇改善事業の活用については、JRR広島病院については、単独での経営であることも踏まえ、素早い対応をして頂き感謝を申し上げます。一方で、大阪鉄道病院については2022春闘交渉でも要

納得感を持った 施策実施となるように

川原業務部長

◆安全お守り手帳は使いやすいものとなっている、ぜひ活用をお願いしたい。

◆離職について各系統で増加傾向にあり、技術継承含めて大きな問題と認識している、ポナスの減額がトリガーになっていることは間違いなが、働き方や環境整備を含めた改善を求めている。一方で辞めて後悔する組合員がいることも事実であり、JR西労組の意義や福利厚生

◆安全お守り手帳は使いやすいものとなっている、ぜひ活用をお願いしたい。

◆離職について各系統で増加傾向にあり、技術継承含めて大きな問題と認識している、ポナスの減額がトリガーになっていることは間違いなが、働き方や環境整備を含めた改善を求めている。一方で辞めて後悔する組合員がいることも事実であり、JR西労組の意義や福利厚生

工務系統の要員不足

下釜鉄道工務部会長



◆地上職の待遇改善については、これから意見を集約していくので、具体的に何をどうしてほしいのかを教えてください。

◆工務系統の要員不足については、これからの採用含めて大きな問題である。

運転適正検査については 会社と粘り強く交渉していく

小西池組織・業務部次長

◆医学適正検査についてはこれまで、聴力や脳波等は緩和することができたが、クレペリンについては全く穴が開かないのが現状である。

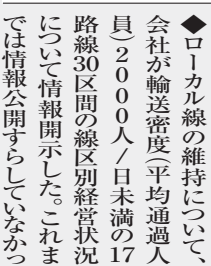


◆出向者については、それぞれの分会でフォローしていただき感謝する。今後出向は増加することが考えられる、引き続きのフォローをお願いしたい。

◆自動運転については試運転を

各エリアが課題認識を持って

福本企画部長



◆ローカル線の維持について、会社が輸送密度平均通過人員2000人/日未満の17路線30区間の線区別経営状況について情報開示した。これまでは情報公開すらしていなかつ

人間の技術に頼らざるを得ない部分

岩本鉄道運転副部会長



◆速度切替スイッチの25km/hの新設については、度重なる災害発生箇所独自の意見であると認識する。ご意見として承り、今後の常任委員会、車両改善要求交渉に役立てることとしたい。

◆ホーム柵設置駅における停止位置目標位置の複雑化につ

組合の役割、会社の責任。 ともにしっかりと果たしていきたい

本田中央副委員長

◆30名から95項目の発言があった。各地本での大会でも、しっかりと回答させていただく。

グループ会社内での 統一化・標準化は急務

藤原間接部門部会長



◆office365が導入されており、ダイレクトやチームスなどいろいろなツールが入れられている。どういった

◆グループ会社内でのツールの統一化・標準化に努めていきたい。

社員に危害なら対抗措置

大場組織・業務部次長



◆第三者加害について組合員が泣き寝入りしている実態がある、初動対応含めた管理者層の教育、また会社として毅然とした対応を表明するよう求めているところである。

新たな方法を模索

飯田鉄道営業部会長



◆駅の販売体制、遠隔MV導入の問題点や乗り組み数見直しについては、営業部会として



また、支社から本社へ、しっかりと意見を言っていた